レッスン：SPA.3

テーマ：意識のセンター/ピラミッド/質問

SPA3.DOC/SPA/KE5.2

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット、光、火の子供たち。私たちは常に神、絶対、聖性に抱かれています。

このレッスンはレッスンSPA.2のフォローアップ（＊続き）です。

意識および現在のパーソナリティーのセルフ・エピグノシスは、それぞれ頭、ハート、太陽神経叢に位置する三つのセンターから構成されています。以前話したように、現在のパーソナリティーが無知のなかにある間は、三つのセンターはすべてハートのセンターにあります。それゆえに、**私たちの思考・行動の仕方の結果として、様々な病気の結果が肉体にまで及ぶのです。**これは私たちの思考・行動の仕方の結果です。なぜなら、思考が頭のセンターから表現されず、ハートのセンターから表現されているからです。さらに、肉体の健康のセンターも太陽神経叢ではなく、ハートのセンターにあるからです。

**これら三つのセンターが現在のパーソナリティーを構成しています。**そして、健康の現れはハートのセンターに依存しています。真理の探究者は不定形な体の再形成に向けてワークするべきであり、そうすることによってノエティカル体の健康のセンターは頭に上昇し、肉体の健康のセンターは太陽神経叢へと降りていきます。そしてサイキカル体の健康のセンターはハートにとどまります。

**頭にはノエティカル体のセンターが、ハートのセンターにはサイキカル体が、そして太陽神経叢には肉体のセンター、と三つのセンターがあります。**生命の木における他のすべてのセンターはパワーと能力のセンターです。そして、それらのセンターは気づきが上昇するまでは触れるべきではありません。それが起きたとき、現在のパーソナリティーにパワーと能力が与えられます。これらのパワーと能力は幼児的パーソナリティーにとっては非常に危険なものです。私たちは幼児に先の尖った刃物を持たせることはしませんが、外科医には刃物を持たせます。

これらのパワーと能力の目覚めは、サイコノエティカルな成長の結果であるべきです。他のいかなるワークも行う必要はありません。現在のパーソナリティーをマスターする前に他のセンターにフォーカスするという過去のメソッドは、道を遠回りすることになり、距離もずっと長くなることを認識すべきです。現在のパーソナリティーはずっと多くの経験を経なければならなくなります。一つの点から他の点にいたる最短距離は直線です。私たちは常に前を見ているべきであり、後ろを振り向くべきではありません。人類が獲得したものすべてを利用すべきです。それをどこに見出すことができるでしょうか？現在のなかにです。私たちは現在から前に進むべきです。

ですから、パワーと能力は、真剣なる真理の探究者、真剣な神秘家、あるいは同胞の人間を助けるために神秘家になることを願っている探求者のためのものではありません。特にクンダリーニにフォーカスすること、生殖器に対応するセンターへのフォーカスは、現在のパーソナリティーに多くの幻想をもたらします。

Page 2

**もし現在のパーソナリティーの用意ができる前にクンダリーニ、あるいは生殖器にフォーカスすると、その結果としてすべてのエネルギーが地に向けて下に流れ、低レベルのエレメンタルを活性化して、現在のパーソナリティーはそれらのエレメンタルに同調するようになります。すると、現在のパーソナリティーはそれらのエレメンタルを利用して多くのパワーと能力を現すようになります。しかし…ここには「しかし」があります…それらのエレメンタルは見返りとして何かを求めることになります。**

それは何も見返りを求めない愛の現れではありません。**それらのエレメンタルは実際、無知にある人間が創造したものであり、「生それ自体」(Life itself)による創造ではありません。彼あるいは彼女はそのような状態、ステートで何かを与え、見返りを求めているのです。本当を言えば、与えることさえなしに、ただ見返りを期待しています。**

**ですから、それらのパワーと能力はそれらのエレメンタルへの同調の結果です。勿論、現在のパーソナリティーは、それらのパワーと能力は自分の成長の結果であるというイリュージョンを抱きます。**特に初めのうちはそのように見えますが、しかし現在のパーソナリティーが｢真実を認識｣するようになったときには、それはすでに手遅れです。なぜなら、現在のパーソナリティーがあまりにもそれらと関わってきたので、エレメンタルの必要に応じてそれらのエレメンタルに食べ物とエネルギーを引き続き提供しなければならないからです。

ですから、パワーと能力のセンター、特にクンダリーニのセンターである創造エーテルのセンターには触れないでください。現在のパーソナリティーの用意ができるようになると、そのセンターは上にだけ上昇するようになります。なぜなら、

**現在のパーソナリティーが**

**五感を表現している間は、生命の木が逆さになっているからです。**

**そのため、私たちには上昇しているように見えても、実際には下に向かっているのです。**

私たちは何よりもまず、地面にフォーカスすることなく、地上的なものにフォーカスすることなく、地面に立つ必要があります。自分の注意をリアルな真の価値あるものに注ぎ、立ち、五芒星をその正しい位置、つまり上向きにします。五感は下向きの五芒星となっており、従って、私たちの頭は上ではなく下になっています。

**パーソナリティーがゆっくりと、徐々にそれ自身で地面に立つと、創造エーテルからのパワーが上に向けて上昇し、それらの諸センターを活性化します。現在のところ、創造エーテルは聖霊の支配下にあります；実際のところ、創造エーテルは物質世界においてこそもっとも重要です。私たちは他の世界、いわゆるサイコノエティカル界においてはこの種のエネルギーを必要としません。なぜなら、そこではそのエネルギーは遍在しており、私たちはそのエネルギーのなかを泳いでいるからです。**

**私たちはその(He)なかにあり、それ(He)は私たちのなかにあるからです。私たちはそのなかで泳いでいます。というのも、それ(He)のない空間はどこにもないからです。ですから生があらゆるところに充満しています。生は私たちのなかにあり、また私たちは生のなかにあるのです。あらゆるものがあらゆるものの中にあります。**

質問：ワークをするために外ではなくて、ピラミッドの中に立たねばならない意味を簡単に説明してくれますか？

Ｋ：私たちは自分自身を現すために四つのエレメントを使用しながら、制限のなかにいます。私たちは境界のなかにいて、四面ピラミッドをもっています。各サイドと底面は前に述べたようにそれぞれ一つのエレメントを現しています。ピラミッドの一つのサイドは現在のパーソナリティーの真の現れを示しています。サイコノエティカルな成長を遂げ、ピラミッドのなかに立つようになると、現在のパーソナリティーはそのレベルの現れに到達することができます。なぜなら、**私たちはまだ四面ピラミッドの中にさえいないからです。私たちは地面のなか、地中、土、泥のなかにいるからです。私たちはその汚れた泥のなかで自分のイメージを見て、そのイメージに魅せられているのです。**

**なぜなら、私たちはどこを見ようとも、自分のイメージにフォーカスしており、自分に役立つと考えるものによってものを測っているからです；つまり人間の一般的な気づきのレベルはいまだ地面のなか、ピラミッドの底面の下にあります。**イエス・キリストは弟子に向かって、「死人が自分自身の頭を埋めるにまかせておきなさい」と述べましたが、それは無知にある人間は死んでいると見なされるからです。

Page 3

質問：真理の探究者がピラミッドのなかにいて、ピラミッドのなかで学んでいる間、自分自身についての学びを続けていく必要がある、とあなたは言いました。それはなぜですか？

Ｋ：なぜなら、準備のできていない人はそれらの道具、それらの真珠を与えられるべきではないからです。私たちは非常に真剣なワークを始めようとしており、その目的は最愛のお方が述べた真珠を与えることです。その真珠は豚に与えられることはありません。つまり、準備のできていない人、無知にいる人、死んでいる人にそれらを与えるべきではない、ということです。

質問：あなたはピラミッドの四つのエレメントについて述べましたが、時に五番目のエレメントについても述べています。五番目のエレメントはどこに入るのでしょうか？

Ｋ：実際には七つのエレメントがあります。しかし、粗雑な物質界には四つしかありません。他の三つは他の実存の世界にあります。つまり創造界におけるマインドのバイブレーションの高いところにあります。もっと正確に言えば、マインドの使用を通じたマインドのバイブレーションの高いところです。なぜなら、マインドの背後には「生それ自体」のスパークがあるからです。前に述べたように、マインドを活性化させるものはエーテル、エーテル・バイタリティーとしての生のスパークだからです。例えば、私たちには電気とマグネシウムがあります。私たちにはエーテルがありますが、それはエーテル・バイタリティーとしてではなく、マインドのバイブレーションとしてのエーテルです。今は別のワークをする必要があるので、これらについては将来もっと詳しくお話しましょう。

しかし勿論、私たちが真理の探求においていかに成長していくかによります。というのも、探求は実験室で行われるのではなく、それがあなたに与えられる間にも行われているからです。そのようにして、常に新たなものが表面に浮上し、もっともっと詳細になり、そのようにして私たちは進んでいきます。このワークには終わりはありません。

どのぐらいの転生を続けるのでしょうか？わかりません。あなたがこれらのなか、この道に入れば入るほど、もっともっとあなたは表面にもたらすようになります。自己実現に到達した人でさえ、存在の世界に入ることをせず、転生のサイクルにとどまって他の人々を助けます。そのレベルに到達した人はすでにあらゆる経験を経ている、ということではありません。あらゆる経験を経るとは、何千何万という無数のパーソナリティーを経験するということです。ですから、誰かが転生のサイクルのなかに引き続きとどまるとき、そのような人にとってさえも新しい詳細が表面に出てくるのです。そうです、その人は潜在意識に貯蔵されているものなら何でも経験することができますが、それは同調を通じて行われます。

質問：同調しているとき、出来事に変化を与えたり、あるいは何かの影響を経験することは可能ですか？

Ｋ：いいえ。あなたが誰かの経験に同調しているとき、その誰かの経験を変えるということはありません。あなたはその人が感じたようにその経験を感じるわけではありません。成長した結果、その意味はもはや同じ意味をもたらすことはありません。感情は別の人が表現している感情と同じではありません。それが実際どういうものかを説明するのは非常に困難です。

質問：あなたはエネルギーの形態として電気と言いました。もし非常に濃密なその種のエネルギーがあるなら、エーテル・バイタリティーとどのような違いがあるのでしょうか？

Ｋ：電気をエーテル・バイタリティーと区別することができます。なぜなら、電気はエーテル・バイタリティーの結果である一種のエネルギーだからです。それはある種のパワー、エネルギーであり、その背後にはエーテル・バイタリティーとしての生のスパークがあります。

質問：ということは、人間がエーテル・バイタリティーを創造することができるのですか？

Ｋ：いいえ、エーテル・バイタリティーを創造することはできません。マインドの使用を通じて、それを表現してパワーとして特定の現象を現すことはできますが。

質問：**エーテル・バイタリティーには意識があるのでしょうか？電気としてのこのエネルギーの形態にもまた意識があるのでしょうか？**

**Ｋ：勿論です。エーテル・バイタリティーは生の海であり、生それ自体の意識をもっています。しかしまた、以前に私たちは、いかなるバイブレーションのマインドであれ、物のあらゆる原子にはそれ自体の意識がある、と話しました。いかなる形態の感覚によっても感知できない空間の原子でさえも、それ自体の意識があります。**

Page 4

質問：それでは結局、エーテル・バイタリティーは生それ自体の背後にある何かであり、エーテル・バイタリティーを通じて生じたこの種のエネルギーにもまた生それ自体があると言えるのでしょうか？それとも…

Ｋ：あらゆるもののなかには「生それ自体」(Life Itself)があります。

質問：それなら、それはまったく同じであるなら、唯一の違いはそれが創造される仕方にあるのでしょうか？

Ｋ：違いは現れ、表現にあります。

質問：エネルギーとしての形態にはまったく違いはないのでしょうか？

Ｋ：エネルギーのスパークとしてはまったく違いはありません。エネルギーのスパークは生それ自体だからです。

質問：それでは、そのエネルギーは一度それ自体の意識を得た後は、それ自体で再創造できるのでしょうか？

Ｋ：何のためにですか？目的が必要です。

質問：目的は何であっても。

Ｋ：違います。目的がなければいかなる動き、活動もありません。特定の目的が必要です。特定の目的がなければ、何であれ何かを生み出すことはできません。創造界でのいかなる運動であれ、そこには特定の目的があります。なぜなら、それは神の黙想の結果であり、神の黙想には特定の目的があるからです。神の黙想内における私たちの活動にも特定の仕事があります。さもなければ、私たちは神の黙想内の活動として存在することはありえません。

質問：それでは例えば、どこかで電気が発生するなら、それにも目的があるのですか？

Ｋ：勿論です。

質問：電気を発生させるためのいかなる燃料も必要とすることなく自らを再創造するための、十分な目的なのでしょうか？

Ｋ：あなたが燃料、パワーという時、そこにはパワーとしての生のスパークがあります。科学者が太陽系、銀河、その他における星を研究する際、彼らは様々な「距離」が保たれているのをどのように説明するのでしょうか？実際に宇宙はどのようになっているのでしょうか？星と星との関係のみならず、それらがどのように創造されたのでしょう。なぜなら、私たちはそれらが存在し、互いに衝突することなく「aperon」(無限)のなかを動いているのを知っているからです。科学者たちはこれらをどのように説明するのでしょうか？磁性を通じてなのでしょうか？それでは磁性とは何でしょうか？そこで磁性がどのように働いているのでしょうか？誰がスパークであり、誰が磁性を現しているのでしょうか？

不動の宇宙法則があるという時、誰がそられの不動の法則を作ったのでしょうか？これらすべての背後には誰がいるのでしょうか？神です。あらゆるものは神の中にあるので、あらゆるものはアウタルキー(\*自己充足している神の状態)のなかにあり、それゆえ磁性も生それ自体の結果です。

**磁性を誰がコントロールしているのでしょうか？絶対存在、絶対生命によって創造された不動の法則がコントロールしています。**

先に述べたように、エーテル・バイタリティーもまた生(Life)です。エーテル・バイタリティーはあらゆるところにあり、生です。**私たちが生というとき、それは一つの生、モナド（＊単体）としての生ではありません。**いずれにしても、絶対生命が何であるか、モナドとしてではなく全体としての絶対生命を言葉で説明することはできません。エーテル・バイタリティーは生の現れを包んでいる生であり、あらゆる生の動きはエーテル・バイタリティーの中で表現されています。ですから、磁性、電気はマインドの様々なバイブレーションを通じた生のスパークの結果です。もしコイルされたワイヤーに電流を流せば、その鉄心のなかに自動的に磁場が生じます。

いずれにしても、将来これらについてお話ししましょう。皆さんの方が科学者よりもこれらについて深く知るようになるときが来るでしょう。それを確信してください。というのも、科学者は表面にあることだけを知っており、それらすべての原因である生のスパークについて、そして磁性としてのこのエネルギー形態を人間がどのようにして利用できるのかを知らないからです。

そうです。**人間は磁性をパワーとして利用し、どれほど大きな物体であれ、いかなる場所へも移動することのできるレベルに到達することでしょう。**勿論、今ではありません。人間はまだ多くの経験を経る必要があります。人類はまだ準備ができていません。なぜなら、もしそれらすべてのパワーが与えられたなら、残念なことに人間はそれらを破壊的目的のために、互いに闘うために利用するからです。というのも、人間はまだ地面にフォーカスしているからです。何が正義と呼ばれようとも、人間は自分の利益になるものだけを正義と呼んでいるからです。それが人間にとっての正義なのです。

（SPA.3 終わり）

エクササイズ　SPA3./KE5/4/NO.1

心を静め、あなたを騒がせているすべての想念を解き放ちます。全身が白である自分自身をイメージし、自分の形の境界を感じます。あなたは全身白であり、四方が壁で囲まれている部屋の中心に立っています。あなたの周囲には同じサイズの四つの壁があります…部屋の床は正方形です。周囲を見ると、それぞれの壁から異なった色の光が部屋に放射されています…あなたの正面の壁から輝いている光は白であり…右手の壁から放射される光の色は赤です…左手の壁から来る光はウルトラ・バイオレットです…後ろの壁から放射されている光の色はホワイト・ブルーです。四つの異なった色の光があなたの立っている部屋に放射されていますが…それらの色は混じりあっていません。それらの光は三角形の形であなたに向かって放射されています…そして、それら四つの三角形の頂点は共通であり、その頂点があなたの身体に触れています。正面の壁からくる光の三角形の頂点はあなたの身体の正面に触れており…右手の壁からの三角形はあなた身体の右側に触れ、左手の三角形は左側に触れています…後ろの壁からの三角形はあなたの背中に触れています。あなたがいる部屋には四つの光があり…あなたの全身は白です…あなた自身の白は前面の壁から放射される白とまったく同じではありません。前面の壁からの光は純白、非常にピュアーな白です。さて、右手に90度回り、今あなたは赤い光に面しており、あなたの左手には白、右手にはホワイトブルーの光があり、後ろにはウルトラ・バイオレットの光が輝いています。この赤い色、赤の光からの影響に対してあなた自身を開きます…これはミカエルが管轄している色です。再び右に90度回り、今度はホワイトブルーに面しています…左手には赤、右にはウルトラ・バイオレット、後ろは純白です。再びあなた自身を開き、ガブリエルが管轄しているホワイトブルーの光の影響を受け入れます。それでは左に180度回り、あなたは今、白に面しています。90度左に回転し、今あなたはラファエルが管轄しているウルトラ・バイオレットの光に面しています…この光にあなた自身を開きます。右に90度回転し、あなたは再び白に面しています。あなたがこの純白の光に集中していると、あなたの前に見えるのはあなた自身です…しかし、あなたのそのイメージには薄霧がかかっていて、前に見えるそのイメージははっきりしていません。この薄霧が晴れて、正面にもっとクリヤーな自分のイメージが見えるようになることを願います。現在のパーソナリティー全体の健康を願い…アガピ、最愛のお方の愛と祝福があなたと共に、あなたの家庭に、あなたの愛する人々に、世界全体と共にあることを願います。

私たちは常に主、絶対、神の聖性に抱かれています。

EREVNA PSA.3/PYR4N.KE5/SE10END